

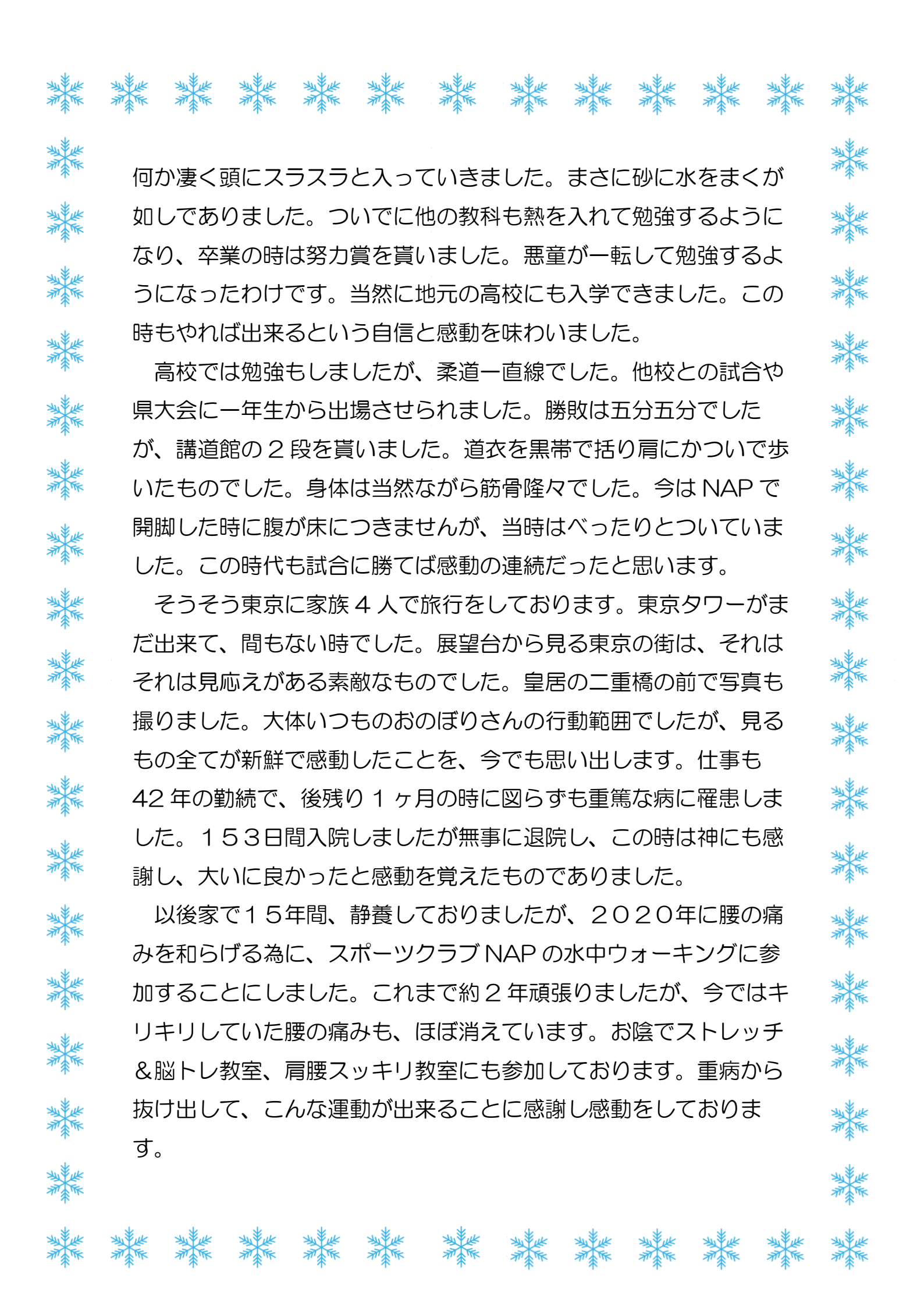
## 【幾つかの感動】

令和4年3月8日

クラブデイトム会員+水中ウォーキング  
大西紀夫

これまで81年間生きてきて、多くの感動した事柄を書いてみたくなりました。幼い頃、家の近くの小川で魚や川エビを捕獲して、炭火で焼いて食べたことを思い出します。なにしろ、昭和23年ごろのこと。田舎で食べる物が無かった時代。美味しかった事を、何故か鮮明に思い出します。殊に丸いチョコレートを親から貰った時はおいしくて感動したことがあります。小学2年生の夏休みで、遊び惚けて宿題をしなかった時に6年生の姉が全てやってくれたこと。先生にはすぐにばれましたが、いけないと思いつつ、安心感と姉への感謝及び密かな感動もありました。当時は親より兄弟姉妹が助けてくれ教えてくれていたんだなーと改めて思い出しました。小学5年生の頃から急に腕っぴしが強くなってきました。農業を手伝ってきたことと北浦の海から近いので魚を多く食べたことかも知れませんが、これも当時としては密かな感動であったと思っています。

中学時代は親戚に土建業者があり、そこに入り浸っていました。なにしろ見るもの聞くもの、全て好奇心があり、他人から見たら悪童に見えたに違いありません。当時、ダイハツの自動三輪車を無免許で時々ですが運転していました。今となっては時効ですね。機械が好きだったので、この上ない嬉しさと感動もあったと記憶しています。それ以上に中学3年になり、英語の先生が勉強の特訓をしてくれました。親がこれではいけないと頼んだのかも知りませんが、



何か凄く頭にスラスラと入っていきました。まさに砂に水をまくが如しでありました。ついでに他の教科も熱を入れて勉強するようになり、卒業の時は努力賞を貰いました。悪童が一転して勉強するようになったわけです。当然に地元の高校にも入学できました。この時もやれば出来るという自信と感動を味わいました。

高校では勉強もしましたが、柔道一直線でした。他校との試合や県大会に一年生から出場させられました。勝敗は五分五分でしたが、講道館の2段を貰いました。道衣を黒帯で括り肩にかついで歩いたものでした。身体は当然ながら筋骨隆々でした。今はNAPで開脚した時に腹が床につきませんが、当時はべったりとついていました。この時代も試合に勝てば感動の連続だったと思います。

そうそう東京に家族4人で旅行をしております。東京タワーがまだ出来て、間もない時でした。展望台から見る東京の街は、それはそれは見応えがある素敵なものでした。皇居の二重橋の前で写真も撮りました。大体いつものおのぼりさんの行動範囲でしたが、見るもの全てが新鮮で感動したことを、今でも思い出します。仕事も42年の勤続で、後残り1ヶ月の時に凶らずも重篤な病に罹患しました。153日間入院しましたが無事に退院し、この時は神にも感謝し、大いに良かったと感動を覚えたものでありました。

以後家で15年間、静養しておりましたが、2020年に腰の痛みを和らげる為に、スポーツクラブNAPの水中ウォーキングに参加することにしました。これまで約2年頑張りましたが、今ではキリキリしていた腰の痛みも、ほぼ消えています。お陰でストレッチ&脳トレ教室、肩腰スッキリ教室にも参加しております。重病から抜け出して、こんな運動が出来ることに感謝し感動をしております。